

桑木議員（民主県政会）

令和2年4月30日
教育長答弁実録
（教育委員会）

（問）休校による子供たちの心身及び学力への影響について

県として、休校による子供たちの心身、学力への影響について、どのように認識し、どう対応していくのか、また、学校再開の見通しも厳しい状況の中、家庭学習で困らないよう、他県と同じように課題集の提供などに早急に取り組む必要があると考えるが、併せて教育長の所見を伺う。

（答）

臨時休業中におきましては、生活等の変化による心身への影響や学習機会の確保について、最大限の配慮が必要であると認識しております。

このため、心身への影響につきましては、児童生徒の定期的な状況把握や、様々な悩みに対する相談窓口の紹介を行うとともに、児童生徒が計画的な運動を実施するためのワークシートや、屋外で行える運動の例などを提供し、児童生徒が主体的に体力づくりに取り組めるよう、指導しております。

学習機会の確保につきましては、児童生徒個々の学習の状況を把握し、指導計画等を踏まえた適切な課題を提供するとともに、ICT機器を活用した授業動画の配信や添削指導等を進めているところでございます。

あわせて、休業中も児童生徒が教員や学校とのつながりを感じることができるよう、市町教育委員会とも協力して、クラウドサービスを活用した健康観察や質疑応答などを行うための基盤づくりを進めております。

また、本県では、各学校から家庭学習用の課題を提供しており、県教育委員会では、児童生徒自らが計画、実践し、振り返るといった「主体的に学ぶ力」を育成するための「個別の学習計画シート」等を活用する「手引き」を定期的に提供することにより、個に応じた家庭学習を支援しているところでございます。

県教育委員会といたしましては、引き続き、臨時休業中における児童生徒の心身の健康や学習機会の確保に向けて、市町教育委員会及び学校と緊密に連携を図りながら、取り組んでまいりたいと考えております。